

プログラム 大会 2日目 3月3日 (日)

第1会場 (神戸国際展示場 2号館 1F コンベンションホール北)

シンポジウム 12

9:00~10:30

患者さんの副作用管理はパーツではなく、トータルでサポートしよう！

Onco-Cardiology を勉強して薬剤師エフェクトを巻き起こせ

オーガナイザー：埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 藤堂 真紀
 北海道がんセンター 薬剤部 高田 慎也
 座長：広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 薬剤部 妹尾 啓司
 石川県立中央病院 薬剤部 久保 杏奈

S12-1 腫瘍循環器学を取り入れてきた日常業務とその成果

国立病院機構北海道がんセンター 薬剤部 梅原 健吾

S12-2 保険薬局が腫瘍循環器において貢献できること

日本調剤 菊水四条薬局 齊藤 和寛

S12-3 進化するがん治療を Onco-Cardiology 的視点から薬剤師が支援する！

国際医療福祉大学 循環器内科学 田村 雄一

共催：日本腫瘍循環器学会

特別講演 2

10:45~11:45

座長：薬局レオファーマシー 神戸市薬剤師会/兵庫県薬剤師会 安田理恵子

ワクチンのサイエンスとデザイン：感染症とガンのリンク

東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 ワクチン科学分野 石井 健

ランチョンセミナー 8

12:00~13:00

いまこそ病院薬剤師、保険薬局薬剤師が知っておきたい抗がん薬の曝露対策

座長：国立がんセンター中央病院 薬剤部 橋本 浩伸

LS8-1 調製マシンで調製 100 件/日！これで抗がん薬曝露をゼロにできるのか？
 ~がん診療病院連携研修を含めて~

埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 高山 俊輔

LS8-2 持って帰ってすぐ実践！明日からできる、内服抗がん薬の曝露対策と患者指導

埼玉県立がんセンター 薬剤部 中山 季昭

共催：日本化薬株式会社

特別講演 3

13:15～14:15

座長：北海道薬剤師会 医薬情報センター 遠藤 一司

薬剤師のための薬物動態学

きずな薬局 平佐店 笹川 大介

シンポジウム 20

15:00～16:30

APACC/BPACC 資格取得までのロードマップと取得後の活躍

オーガナイザー・座長：慶應義塾大学病院 薬剤部

櫻井 洋臣

昭和大学横浜市北部病院 薬剤部（病院薬剤学講座）

縄田 修一

S20-1 日本臨床腫瘍薬学会における認定・専門薬剤師の制度概要

慶應義塾大学病院 薬剤部

櫻井 洋臣

S20-2 症例報告の書き方・伝え方

国立がん研究センター中央病院 薬剤部/感染制御室

中島 寿久

S20-3 薬学的介入の提出事例と面接の振り返り

総合メディカル株式会社 薬局事業本部

下川友香理

S20-4 がん診療病院連携研修の魅力をお伝えします！

昭和大学横浜市北部病院 薬剤部（病院薬剤学講座）

縄田 修一

S20-5 がん診療病院連携研修中のポイント

国立病院機構九州がんセンター 薬剤部

衛藤 智章

S20-6 外来がん治療専門薬剤師としての活躍

ナカジマ薬局 桑園店

山崎友里絵

第 2 会場 (神戸国際展示場 2 号館 1F コンベンションホール南)

シンポジウム 13

9:00~10:30

薬剤師による探索的アプローチの実際～CQ から RQ への変換と試験の組み立て方～

オーガナイザー・座長：福岡大学 薬学部 腫瘍・感染症薬学教室 内山 将伸
日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 葉山 達也

S13-1 適切な研究計画を立てるために押さえておくべきポイント
～CQ から RQ への構造化を中心に～

福岡大学 林 稔展

S13-2 医療データ解析を起点とした臨床研究の実践

徳島大学大学院 医歯薬学研究部臨床薬理学分野 新村 貴博

S13-3 小児がん治療における探求的アプローチ

岡山大学病院 薬剤部 岩田 直大

S13-4 市中病院で取り組む臨床研究の実例共有
～学術研究機関等との違いとは？～

神奈川県警友会けいゆう病院 薬剤部 小澤 有輝

ランチョンセミナー 9

12:00~13:00

HER2 陽性肺癌の薬物療法と副作用マネジメント

座長：国立がん研究センター東病院 薬剤部 松井 礼子

LS9-1 実践、エンハーツの投与を継続するために～薬剤師の視点から～

愛知県がんセンター 薬剤部 橋本 直弥

LS9-2 HER2 陽性肺癌の薬物治療について

松阪市民病院 呼吸器センター 呼吸器内科 伊藤健太郎

共催：第一三共株式会社

シンポジウム 21

15:00～16:30

高齢者がん薬物治療におけるクリニカルクエスト

オーガナイザー：東京薬科大学 薬学部 臨床薬理学教室 鈴木 賢一
 座長：がん研究会有明病院 薬剤部 清水 久範
 がん研究会有明病院 薬剤部 橋本 幸輝

- S21-1 高齢者がん薬物治療をとりまく問題点（制度、医療経済の視点から）
 がん研究会有明病院 薬剤部 清水 久範
- S21-2 がん薬物治療における高齢者機能評価（GA）の位置づけと利用方法
 昭和大学薬学部 病院薬剤学講座／昭和大学横浜市北部病院 薬剤部 市村 丈典
- S21-3 高齢者がん薬物治療における費用対効果のエビデンス
 日本医科大学付属病院 薬剤部 田中 弘人
- S21-4 高齢者がん薬物療法における健康関連 QOL 測定の意義
 株式会社アインファーマシーズ 辻 将成
- S21-5 高齢者におけるがん支持療法のエビデンス
 東京薬科大学 薬学部臨床薬理学教室 鈴木 賢一

プログラム
 3月3日

第3会場 (神戸国際展示場 1号館 2F 展示室 2A)

シンポジウム 14

9:00~10:30

2023年度 JASPO 海外研修派遣事業報告

~海外派遣事業の取り組みと今後に期待すること~

オーガナイザー：厚生労働省医薬局 太田 貴洋
 国立がん研究センター東病院 薬剤部 鈴木 真也
 座長：神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 森本 麻友
 国立がん研究センター東病院 薬剤部 田内 淳子

- S14-1 海外派遣事業教育の質向上への取り組みと研修を通して得た学び
 ~次なるステップへ向けて~
 国立病院機構九州がんセンター 薬剤部 久松 大祐
- S14-2 日本と米国の違いから考える薬局薬剤師の今後について
 株式会社アインファーマシーズ アイン薬局獨協医大店 五十嵐 爽
- S14-3 海外派遣研修を通して学んだ米国医療と薬剤師の“リアル”
 ~薬剤師の臨床業務・教育体制~
 横浜市立大学附属病院 薬剤部 坂本 靖宜
- S14-4 “All Roads Lead to Rome” 米国から学ぶ薬剤師教育のあり方とがん治療
 への取り組み
 みやぎ県南中核病院 薬剤部 堀之内 藍
- S14-5 Pharmacy Residency Training in the United States
 New York Memorial Sloan Kettering Cancer Center (MSKCC) Lisa Modelevsky
- S14-6 これからの海外研修者に期待すること
 厚生労働省 医薬局 太田 貴洋

ランチョンセミナー 10

12:00~13:00

BD® HD チェックシステムを用いた定期的な環境モニタリングの有用性への示唆

座長：慶應義塾大学病院 薬剤部 櫻井 洋臣

- LS10-1 BD® HD チェックシステムを用いた定期的な環境モニタリングの有用性への示唆
 がん研究会有明病院 薬剤部 清水 久範
- LS10-2 BD® HD チェックシステムを活用した抗がん薬汚染状況調査
 ~国立がん研究センター中央病院での調査結果紹介~
 国立がん研究センター中央病院 薬剤部 宇田川涼子
 共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

シンポジウム 22

15:00～16:30

若手薬剤師の飛躍！戦略的後進育成と次世代がん医療への貢献

- | | | |
|-------|---|-------|
| | オーガナイザー・座長：がん研究会有明病院 | 小林 一男 |
| | オーガナイザー：東京薬科大学 薬学部 医療実務薬学教室 | 藤宮 龍祥 |
| | 座長：亀田総合病院 薬剤部 亀田クリニック薬剤室兼務 | 平田 一耕 |
| S22-1 | 多施設交流の魅力と後進育成のイノベティブアプローチ
大船中央病院 薬剤部 | 越智 良明 |
| S22-2 | キャリアパスの探求、多様な選択と後進育成の革新的戦略
亀田総合病院 薬剤部 亀田クリニック薬剤室兼務 | 平田 一耕 |
| S22-3 | 若手薬剤師のがん治療への挑戦、大学院進学とその先の展望
順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部 | 畠山 織江 |
| S22-4 | 中小病院におけるがん治療のリーダーとしての若手成功事例
神奈川県警友会けいゆう病院 薬剤部 | 草野 淳一 |
| S22-5 | 若手で取り組む尺度開発の多機関共同研究
東京薬科大学 薬学部 医療実務薬学教室 | 藤宮 龍祥 |

プログラム
3月3日

第4会場 (神戸国際展示場 1号館 2F 展示室 2B)

シンポジウム 15

9:00~10:30

みんなどうやってるの？抗がん薬における職業性曝露対策
～パタフライ・エフェクトで院内の曝露対策を飛躍的に推進させる～

オーガナイザー・座長：東海大学医学部付属病院 薬剤部 谷川 大夢
がん研究会有明病院 小林 一男

- S15-1 抗がん薬の環境曝露調査は本当に必要なのか？
－曝露対策につなげるマネジメントサイクル－
伊勢赤十字病院 薬剤部 三宅 知宏
- S15-2 安心して抗がん薬を調製・投与できる環境とは？～環境曝露低減に向けた
当院の取り組み～
小牧市民病院 薬局 福岡 智宏
- S15-3 抗がん薬調製：処置等で使用する抗がん薬の曝露対策
榊原記念病院 薬剤科 石丸 博雅
- S15-4 がん治療専門施設としての抗がん薬曝露対策に向けて
がん研究会有明病院 薬剤部 清水 久範

ランチョンセミナー 11

12:00~13:00

徹底討論！アナモレリン塩酸塩の適正使用

座長：愛知県がんセンター 薬物療法部 室 圭

- LS11-1 薬剤師によるアナモレリンの処方提案 ～まずはがん悪液質の理解から～
愛知県がんセンター 薬剤部 下村 一景
- LS11-2 アナモレリン処方対象の具現化と具体化
名城大学薬学部 病態解析学Ⅱ/愛知医科大学 築山 郁人
共催：小野薬品工業株式会社

シンポジウム 18

13:15～14:45

地域での連携の課題は何か？その障壁を取り除くには？

オーガナイザー・座長：有限会社つくし薬局 大塚 昌孝
クオール株式会社 関東第一事業部 クオール薬局 港北店 村田 勇人

S18-1 アンケートから見えてきた薬局間連携への壁の壊し方
有限会社 つくし薬局 大塚 昌孝

S18-2 地域における薬局薬剤師の役割と地域医療連携の推進
厚生労働省 医薬・生活衛生局 総務課 小川 雄大

S18-3 連携自体がゴールになってませんか？患者貢献のできる薬業連携を目指して
～現状の課題・障壁を再考し薬業連携 Next Stage へ～
草加市立病院 薬剤部 伊藤 剛貴

S18-4 連携は難しい？ 地域連携が抱える壁を考える
～専門医療機関連携薬局として～
望星薬局 久田 健登

S18-5 地域包括ケアシステムにおける保険薬局のがん治療支援と在宅連携
クオール株式会社 関東第一事業部 クオール薬局 港北店 村田 勇人

シンポジウム 23

15:00～16:30

みんなどうしてる？認知症患者さんのがん治療、薬剤師ができる意思決定と治療への支援

オーガナイザー・座長：埼玉県立がんセンター 薬剤部 中山 季昭
ファーマクラスター株式会社 人材開発部 太田 愛子

S23-1 認知症のがん患者における治療上の課題と望まれる支援
国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科 小川 朝生

S23-2 認知症ががん治療に与える影響とは
群馬県立がんセンター 薬剤部 藤田行代志

S23-3 薬局における認知症がん患者さんへの支援と課題
株式会社ファーマみらい 共創未来寺地薬局 小林 圭輔

S23-4 認知機能障害のある高齢がん患者における外来化学療法の副作用マネジメント
東京医科大学病院 薬剤部 東 加奈子

プログラム
3月3日

第5会場 (神戸国際展示場 2号館 2F 2A 会議室)

シンポジウム 16

9:00～10:30

がんと闘う心と身体～薬剤師が描く心理社会的問題の対応と解決～

オーガナイザー・座長：山形大学医学部附属病院 薬剤部 志田 敏宏
株式会社マスカット薬局 高見陽一郎

S16-1 がん患者の心理社会的問題とは
国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科 榎戸 正則

S16-2 がん患者に共感するために病院薬剤師として必要なこと
～こころの深みを受け止める患者面談～
竹田綜合病院 薬剤科 木本 真司

S16-3 退院時から自宅療養における患者の心理社会的不安の変化に寄り添う
～訪問薬剤師の立場から～
有限会社キムラ薬局 中島 美紀

S16-4 シームレスな退院支援のために必要な情報提供
ほし薬局 星 利佳

S16-5 保険薬局が取り組む、治療の下支えとしてのがんサロン
マスカット薬局 本店 松元 享平

教育セミナー 2

10:45～11:45

座長：がん研究会有明病院 薬剤部 濱 敏弘

ES2 がん薬物療法で薬剤師がどう伴走するか
～服薬指導と副作用対策のためのコミュニケーション～
神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 池末 裕明
共催：東和薬品株式会社

ランチョンセミナー 12

12:00～13:00

地域と病院とをつなぐがん薬物療法～薬剤師外来と薬剤連携のすすめ方～

座長：神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 室井 延之

LS12-1 医師の立場から 薬剤師外来・薬剤師連携に求めるもの
神戸市立医療センター中央市民病院 乳腺外科 鈴木 栄治

LS12-2 病院薬剤師の立場から 患者と医療者との共通認識を高めるために
神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 平畠 正樹

LS12-3 薬局薬剤師の立場から セルフケアを高めるために
日本調剤 ポートアイランド薬局 木村 大地
共催：日本調剤株式会社

シンポジウム 19

13:15～14:45

臨床現場と大学の協働によるエビデンスの創出と次世代を担う後進育成

オーガナイザー：慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 医療薬学部門 河添 仁
 オーガナイザー・座長：慶應義塾大学 薬学部 土屋 雅美
 座長：近畿大学 薬学部 臨床薬学部門 社会薬学分野 高橋 克之

- S19-1 どうする大学院？ 社会人博士課程修了までの道のりと研究の展望
 慶應義塾大学 薬学部 土屋 雅美
- S19-2 学生、病院薬剤師、教員への経験と後進育成の考え
 明治薬科大学 総合臨床薬学教育研究講座 循環薬理学研究室 杉 富行
- S19-3 後ろ向き観察研究が海外学術誌へ掲載されるまでを振り返って
 栃木県立がんセンター 薬剤部 山崎 朋子
- S19-4 臨床マインドと研究マインドを兼ね備えた次世代を担う薬剤師の育成
 近畿大学 薬学部 臨床薬学部門 社会薬学分野 高橋 克之

シンポジウム 24

15:00～16:30

増え続けるレジメンをどのように管理する？

～薬薬連携を見据えたレジメン管理の重要性～

オーガナイザー・座長：埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 小谷野大地
 アポクリート株式会社 アブロック日高センター前薬局 2号店 立澤 明

- S24-1 レジメンオーダーシステムを活用したレジメン管理の工夫
 -大学病院の立場から-
 長崎大学病院 安全管理部 橋詰 淳哉
- S24-2 希少がん・難治がんのレジメン管理や運用
 滋賀医科大学・腫瘍内科 高野 淳
- S24-3 “レジメン管理”を地域全体で支えるために
 小山記念病院 薬剤部 花香 淳一
- S24-4 保険薬局におけるレジメン情報の活用について
 シーエスグループ あおば薬局 水井 亮

プログラム 3月3日

第6会場 (神戸国際展示場 2号館 3F 3A 会議室)

シンポジウム 17

9:00~10:30

今だから話せる薬剤師主導臨床試験のウラ・オモテ

~これからの担う若手研究者へのメッセージ、一回で二度おいしい臨床研究立案の tips and tricks~

オーガナイザー：東京薬科大学薬学部 臨床薬理学教室 鈴木 賢一
 埼玉医科大学国際医療センター がんゲノム医療科/薬剤部/臨床研究適正推進センター 牧野 好倫
 座長：国立がん研究センター東病院 シーズ開発支援室/薬剤部 野村 久祥
 国立国際医療研究センター病院 薬剤部 大橋 養賢

ディベート①アムルピシン療法の TDM 試験開始までの苦労談
 ~IRB を論破せよ~

東京薬科大学 薬学部臨床薬理学教室 鈴木 賢一

S17-1 アムルピシン TDM 試験~実際はどう切り抜けたか?~

埼玉医科大学国際医療センター がんゲノム医療科/薬剤部/臨床研究適正推進センター
 牧野 好倫

ディベート②TRIPLE 試験デザイン決定までの道のり

埼玉医科大学国際医療センター がんゲノム医療科/薬剤部/臨床研究適正推進センター
 牧野 好倫

S17-2 試験成功の舞台裏 カミングアウト [TRIPLE study] ~今だから話せる裏話~

東京薬科大学 薬学部 臨床薬理学教室 鈴木 賢一

教育セミナー 3

10:45~11:45

座長：長崎大学病院 臨床研究センター 山本 弘史

ES3 医療 DX を踏まえた外来化学療法センターの運営

北里大学医学部附属新世紀医療開発センター臨床腫瘍学/

北里大学病院 集学的がん治療センター 佐々木治一郎

共催：テルモ株式会社

ランチョンセミナー 13

12:00~13:00

座長：神戸大学大学院医学研究科 腫瘍・血液内科 南 博信

LS13 腸内細菌叢とがん薬物療法 一開かれる個別化医療の新たな扉一

東北大学病院 腫瘍内科 西條 憲

共催：ミヤリサン製薬株式会社

Basic セミナー 3

13:15～13:45

座長：KKR 札幌医療センター 薬剤科 玉木 慎也

乳がん薬物療法の基本

浜松医療センター 薬剤科 宮本 康敬

Basic セミナー 4

13:45～14:15

座長：国立がん研究センター東病院 野村 久祥

膀胱がん薬物療法の基礎知識

JA 長野厚生連 佐久医療センター 薬剤部 篠原 佳祐

Basic セミナー 5

14:15～14:45

座長：自治医科大学附属病院 薬剤部 中澤 寛仁

スキルアップ！血液がん薬物療法の薬学的管理

京都桂病院 薬剤科 土手 賢史

第7会場 (神戸国際展示場 2号館 3F 3B 会議室)

優秀演題 (口演) 1

9:45~10:35

座長：岡山大学病院 薬剤部 鍛冶園 誠
茨城県立中央病院 薬剤局薬剤科 大神 正宏

OA-1 CDK4/6 阻害薬の有効性に対するプロトンポンプ阻害薬併用の影響：多機関共同後方視的観察研究

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 北洞 美佳

OA-2 免疫チェックポイント阻害薬を投与した患者における electronic patient-reported outcome の有用性：傾向スコアマッチング解析

小松市民病院 薬剤科 桂 英之

OA-3 保険薬局薬剤師によるテレフォンフォローアップが注射抗がん薬投与患者の処方に及ぼす影響

あけぼのファーマシーグループあけぼの薬局 中村 俊貴

OA-4 がん悪液質が mFOLFIRINOX 療法の血液毒性及び治療継続期間に及ぼす影響

済生会熊本病院 薬剤部 白尾 祐樹

OA-5 がん悪液質患者におけるアナモレリンの効果予測因子の探索

名城大学 薬学部 病態解析学Ⅱ 武仲 桃子

優秀演題 (口演) 2

10:45~11:35

座長：クオール株式会社 関東第一薬局事業本部 クオール薬局港北店 村田 勇人
北海道がんセンター 薬剤部 高田 慎也

OA-6 抗がん薬治療前方評価を用いた複数がん種における緊急入院発生率調査 -胃がん、膵がん、乳がんでの相違-

がん研究会有明病院 薬剤部 中村 匡志

OA-7 Poisson 回帰モデルを用いた専門医療機関連携薬局 (がん) の有益性評価 ~薬学的介入事例に基づく医療経済効果の推算~

かしわざ中央薬局 植竹 友輔

OA-8 高齢者機能評価簡易ツール G8 に基づく高齢がん患者の薬薬連携フォローアップの有用性

昭和大学 薬学部 病院薬剤学講座 市村 丈典

OA-9 保険薬局で実際に取り組んでいる“触診モデルを用いた乳がん啓発運動”の実施報告

法円坂薬局 瀬戸 基樹

OA-10 がん遺伝子パネル検査における患者の情報リテラシーと薬剤師の役割

順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部 島山 織江

ランチョンセミナー 14

12:00～13:00

座長：神鋼記念病院 薬剤室 依藤健之介

LS14 がん薬物療法の経済毒性を考える

横浜市立大学大学院 医学群 データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻/

東京大学大学院 薬学系研究科 医薬政策学 五十嵐 中

共催：セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社

一般演題（口演） 9

13:15～14:18

病診薬（薬薬）連携・チーム医療③

座長：金沢大学附属病院 薬剤部 吉田 幸司

株式会社 スギ薬局人材開発部 / DI 室 藤田あゆみ

O-49 外来がん化学療法におけるトレーシングレポートによる薬学的介入の実態調査

茨城県立中央病院 薬剤局薬剤科 柴 このみ

O-50 当院における薬薬連携の現状と課題

東京都健康長寿医療センター 薬剤科 鷲足ひろみ

O-51 オンライントレーシングレポートを通じた薬薬連携の評価

市立東大阪医療センター 村地 康

O-52 連携充実加算算定における「外来化学療法施設間連携レター」の運用を通して見られた薬薬連携の変化

近江八幡市立総合医療センター 薬剤部 山本 圭恵

O-53 当院の「外来患者への抗がん薬治療に関する情報提供書」を用いた医療機関と保健薬局の連携充実化に関する患者アンケート調査

国立がん研究センター東病院 楠原馬見新佳那子

O-54 連携ツールのブラッシュアップと連携充実加算が患者フォローアップ件数に与える影響（第一報）

京都第二赤十字病院 加藤 良隆

O-55 連携充実加算の取り組みにおけるトレーシングレポート報告の質向上にむけたアンケート調査

国立病院機構信州上田医療センター 薬剤部 鈴木 春子

O-56 「エスワン服用開始連絡票」の有用性の検証及び、外来がん化学療法実施患者に係わる薬薬連携に対する意識調査

黒石市国民健康保険黒石病院 薬剤科 渡邊 記祥

O-57 連携充実加算の取組みについて

大分県立病院 外来化学療法室 山田 剛

プログラム 3月3日

一般演題（口演） 10

14:30～15:33

がん薬物療法（支持医療などを含む）症例報告を除く④

座長：日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 葉山 達也
 国立病院機構水戸医療センター 薬剤部 木村 滋

- 58 若年悪性骨軟部腫瘍患者におけるシスプラチン投与後の悪心・嘔吐発現に関する調査研究
 がん研究会有明病院 薬剤部 副島 梓
- 59 ASCT 併用 L-PAM 大量療法を行う多発性骨髄腫患者の悪心・嘔吐に対するオランザピン併用制吐療法の有効性
 日本赤十字社医療センター 薬剤部 加藤 淳平
- 60 ゲムシタピン+アブラキサン®療法の制吐薬変更後の悪心・嘔吐発現状況調査
 島根県立中央病院 薬剤局 頼光 翔
- 61 Trastuzumab Deruxtecan 使用患者における制吐療法と悪心・嘔吐発現状況の現状調査
 横浜市立大学附属病院 薬剤部 重村 明香
- 62 CINV におけるオランザピン 2.5mg～10mg の有効性・安全性についてのメタアナリシスおよびシステマティックレビュー
 国立がん研究センター東病院 薬剤部 内野 里香
- 63 当院肺がん患者におけるホスネツピタントの有効性評価
 香川大学医学部附属病院 薬剤部 國方 梨乃
- 64 オランザピン 5mg 服用後 2.5mg へ減量した患者に対する CINV (chemotherapy-induced nausea and vomiting) の予防効果と安全性の検討
 愛知県がんセンター 薬剤部 下村 一景
- 65 がん化学療法に対するホスネツピタントの有効性と安全性の実態調査
 国立病院機構東京医療センター 長尾 嘉真
- 66 静注 NK1 受容体拮抗薬使用における注射部位反応発現頻度の比較：単一施設による後方視的コホート研究
 淀川キリスト教病院 基村 佳世

一般演題（口演） 11

15:45～16:15

がん薬物療法（支持医療などを含む）症例報告を除く③

座長：神戸大学医学部附属病院 薬剤部 丹田 雅明

埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 高山 裕樹

O-67 グラツムマブ皮下注時の Infusion-Related Reaction に対する抗ヒスタミン薬の有効性・安全性に関する多施設共同観察研究

慶應義塾大学大学院 薬学研究科 鈴川 真由

O-68 がん薬物療法における過敏性反応予防薬である第 2 世代抗ヒスタミン薬に関する後方視的調査

福岡大学筑紫病院 薬剤部 柿本 秀樹

O-69 Pola-BR 導入時における infusion-related reaction 発現の実態調査

静岡県立静岡がんセンター 薬剤部 桑 哲雄

O-70 当院におけるラムシルマブの点滴時間短縮に伴う Infusion reaction の発現状況について

小山記念病院 薬剤部 深水 勇伍